

昭和48年度 和歌山県文化賞

にし うち しげ お
西 内 重 男 (芸名 野澤松之輔)

住 所：東京都港区

出 身 地：和歌山県

生 年：明治35年

◎業績及び経歴

大正3年若くして野澤吉造師に師事、大正5年六世野沢吉兵衛師につき義太夫三味線の修業、吉左と名のった。

大正6年御霊文楽座に入座、昭和17年野澤松之輔と改名した。同29年豊本節を創流、豊本豊輔と名のる。恵まれた天性と不断の努力により、同30年大阪市民文化祭芸術賞受賞、同31年曾根崎心中等近松物作曲で人形浄瑠璃因協会賞受賞。

同43年紫綬褒賞受賞され至高の芸域に達し同47年4月17日重要無形文化財「人間国宝」に指定された。

また氏は作曲者としてもすぐれた才能を示され、NHK作曲賞・民放各賞等を受賞されているが、ふるさと・和歌山に関係のある新曲に「道成寺炎の鐘の物語」があり、東京国立劇場で披露された。

現在同劇場の古典芸能伝承者養成の教官としても活躍され、後進の指導育成につとめられている。